

市議会だより

ふたば



CONTENTS

P2~P3 7月臨時会・9月定例会 主な議案

P4~P7 令和3年度決算特別委員会

P8~P11 市政を問う!一般質問

P12~P15 各委員会報告

P16 市民の声・表紙紹介

令和4年
11月1日

令和4年
9月議会号 No.71

7月臨時会

会期 令和4年7月15日(1日間)

〔上程された議案〕

- ◇議案・・・・・・・・・・・・・1件

主な議題と内容

令和3年度のうきは市役所ほか23施設の電力需給契約に関し、契約先企業の電力事業撤退により、途中で契約の切替が必要となり、当初の契約単価よりも高価な単価

で購入することを余儀なくされたことに関する損害賠償について、契約先企業が市に対して和解金2215万7799円を支払う和解案が示されました。審議の結果、本和解案を受け入れることとしました。

9月定例会

会期 令和4年9月2日～21日(20日間)

〔上程された議案〕

- ◇報告・・・・・・・・・・・・・2件
- ◇議案・・・・・・・・・・・・・17件
- ◇請願・・・・・・・・・・・・・2件
- ◇追加議案・・・・・・・・・・・・・1件

主な議案

例年9月定例会は、前年度の決算の内容が、承認した予算に対して適正に執行されているかを審査する役割を担っています。今回も令和3年度

のうきは市一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、うきは市立自動車学校特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計の決算内容について、議員全員参加の「決算

令和4年度うきは市一般会計補正予算(第2号)

令和4年度うきは市の歳入歳出予算に、それぞれ10億1474万8千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ170億6973万2千円としました。

主な歳入

- 地方交付税 4億9477万2千円の増額
- 国庫支出金 3億2193万円の増額
- 前年度繰越金 7億1087万円の増額
- 基金繰入金 6億6786万円の減額

主な歳出

- 総務管理費 4億6171万9千円
- 前年度の一般会計剰余金の2分の1にあたる4億3050万円を減債基金に積み立てる他、ふるさと納税の事業費や返礼品に係る費用等です。
- 社会福祉費 4306万6千円
- 地域介護・福祉空間整備等補助金、高齢者

特別委員会を設置し、5日間の集中審議をおこないました。(詳細は4～7頁)

その他、令和4年度うきは市一般会計補正予算(第2号)ならびに3つの特別会計と1つの事業会計の補正予算を中心に、条例制定案2件、市道路線の変更案1件、市有財産の取得1件などが審議・承認されました。

9月定例会



議案の審議結果について詳しく知りたい方は、こちらのQRコードからご覧ください。

7月臨時会



保健衛生費

1億2921万3千円

会計年度任用職員報酬、新型コロナウイルス

児童福祉費

1637万2千円

子育て世帯生活支援特別給付金(学生等世帯、住民税均等割のみ世帯分)、保育所等給食費補助金、子ども食堂事業費補助金等です。

農業費

9749万1千円

肥料等高騰緊急対策事業費補助金、飼料等高騰対策支援事業費補助金、中山間地域等直接支払交付金等です。

商工費

5442万2千円

臨時経済対策商品券発行事業費補助金(プレミアム商品券)、事業再構築支援補助金、道の駅うきは改修基本計画策定業務委託料等です。

道路橋りょう費

8190万円

市道2か所の改良工事費、橋りょう2か所の維



ワクチン集団接種費用、HPVワクチン接種事業費等です。

持のための測量設計委託料等です。

下水道事業費

7690万円

下水道料金2か月分を減免する新型コロナ対策支援事業に対する下水道事業会計への負担金です。

小学校費・中学校費（教育振興費）
705万6千円

市内全小学校、中学校の給食事業の物価上昇分に対する支援金です。

公共土木施設災害復旧費

1200万円

7月18、19日の豪雨で被災した市道5か所、市の管理河川1か所の復旧工事費です。

令和4年度うきは市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4115万1千円を追加し、歳入歳出予算の総計を歳入歳出それぞれ39億2761万2千円としました。

令和4年度うきは市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ201万円を追加し、歳入歳出予算の総計を歳入歳出それぞれ5億911万3千円としました。

令和4年度うきは市立自動車学校特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2476万5千円を追加し、歳入歳出予算の総計を歳入歳出それぞれ1億7810万4千円としました。

請願第2号

請願者 藤平 伊佐男

案件 子どもの食堂への支援と「じじばば食堂」開設に関する請願

趣旨 ①子ども食堂(るり色ふるさと館に専用冷蔵庫の設置等)への支援を求めらるるものです。

②高齢者の利用も多いことから「じじばば食堂」の行政主導での開設を求めらるるものです。

結果 所管の厚生文教常任委員会に付託され、審



令和4年度うきは市下水道事業会計補正予算(第2号)

下水道料金2か月分を減免する新型コロナ対策支援事業に伴い収益的収入および支出の予定額を見直し、下水道事業収益(収益的収入)を340万円の減額、下水道事業費用(収益的支出)を99万6千円の増額としました。

うきは市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

今回の条例改正で、印鑑証明書をお手持ちのスマートフォンとマイナンバーカードで市役所に向くことなく申請取得ができるようになります。取り扱い方法等詳細は、広報うきはやうきは市公式LINEをご覧ください。



請願第3号

請願者 自治労うきは市職員労働組合

案件 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願

趣旨 2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたって、コロナ対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう政府に対して意見書の提出を求めるものです。

結果 所管の総務産業常任委員会に付託され、審議の結果、願意妥当と認め全会一致で採択されました。

追加議案(意見第4号)

請願第3号で採択された地方財政の確立をめざす意見書を、政府へ提出することを全会一致で可決しました。

人権擁護委員の推薦

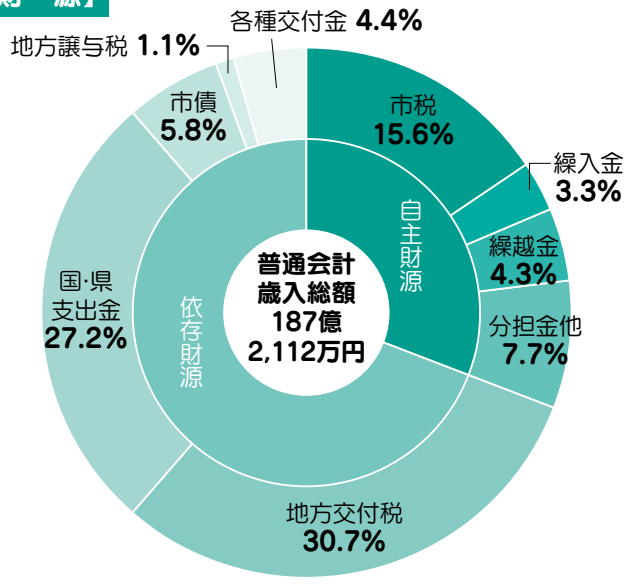
高浪 廣海(再任) 中嶋 法子(新任)
倉富 政憲(新任) 金子 洋子(新任)

任期…令和5年1月1日～令和7年12月31日

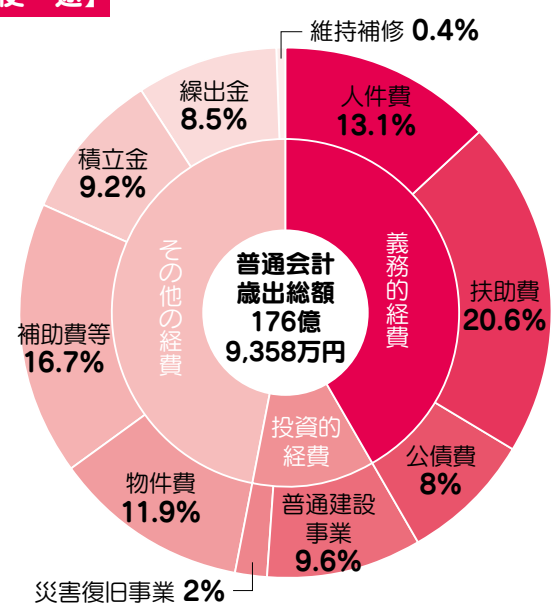
令和3年度 決算特別委員会 歳出総額 **220** 億円を認定

9月定例会において、9月9日から15日まで、決算特別委員会が実施されました。令和3年度における普通会計の決算は、歳入が187億2,112万円、歳出が176億9,357万円となり、歳入歳出の差引額は、10億2,754万円となりました。このうち、翌年度（令和4年度）へ繰り越すべき財源1億3,790万円を差し引き、実質収支額は8億8,963万円となります。令和3年度に行われた各課各係の事業ごとに目的と成果や課題等の質疑を特別委員会で行いました。採決の結果、全会一致で本決算を認定しました。また、特別会計並びに公営企業会計も、それぞれ認定しました。

【財源】



【使途】



普通会計 内訳 (金額・説明)

(単位：千円)

項目		令和3年度	令和2年度	前年比較増減	説明
歳入	自主財源				
	市税	2,917,485	2,879,358	38,127	皆さんが市に納める税金
	繰入金	611,424	401,422	210,002	収入の不足を補うために、基金等から取り崩したお金
	繰越金	814,361	387,994	426,367	前年度から繰り越されたお金
	分担金ほか	1,437,146	1,425,590	11,556	分担金・使用料・手数料・財産収入・寄附金・その他の収入
	地方交付税	5,747,453	5,339,891	407,562	市町村の均衡を図るために国から配分されたお金
	国・県支出金	5,094,971	6,965,123	▲ 1,870,152	特定の目的のために国や県から交付されたお金
	市債	1,081,178	1,128,600	▲ 47,422	市が事業を行うために借り入れるお金
地方譲与税	200,643	196,084	4,559	国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金	
各種交付金等	816,460	703,502	112,958	地方消費税交付金・自動車税環境性能割交付金ほか	
合計	18,721,121	19,427,564	▲ 706,443		
歳出	義務的経費				
	人件費	2,312,131	2,247,570	64,561	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶助費	3,651,762	3,047,392	604,370	医療費・児童手当などに使うお金
	公債費	1,417,038	1,342,929	74,109	市の借金を返済するためのお金
	投資的経費				
	普通建設事業	1,697,068	1,494,515	202,553	道路整備・建物などの整備・建設に使うお金
	災害復旧事業	352,792	405,939	▲ 53,147	道路・建物の災害復旧に使うお金
	その他の経費				
物件費	2,113,106	2,136,750	▲ 23,644	業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金	
補助費等	2,956,815	5,781,232	▲ 2,824,417	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など	
積立金	1,629,445	776,031	853,414	市の貯金に積み立てるお金	
繰出金等	1,499,825	1,322,695	177,130	特別会計や公営企業会計に繰出金等として支出するお金	
維持補修費	63,597	58,150	5,447	施設の維持・補修費に使うお金	
合計	17,693,579	18,613,203	▲ 919,624		

令和3年度決算状況

(単位：千円)

会計名		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき額	実質収支
普通会計	一般会計	18,557,220	17,542,230	1,014,990	137,906	877,084
	自動車学校特別会計	163,901	151,349	12,552		12,552
	小計	18,721,121	17,693,579	1,027,542	137,906	889,636
国民健康保険事業特別会計		4,045,321	3,904,169	141,152		141,152
後期高齢者医療事業特別会計		477,573	475,561	2,012		2,012
合計		23,244,015	22,073,309	1,170,706	137,906	1,032,800

◆うきは市の財政状況は？

令和3年度末は、基金（貯金）等残高は、138億8,730万円で、前年度に比べ12億83万円増加しました。市債（借金）残高は、222億7,726万円で、前年度に比べ6億9,916万円減少しました。財政構造の弾力性を判断する指数である「経常収支比率」は、前年度より減少し79.3%となっています。

*経常収支比率：市税や普通交付税など毎年度恒常的に入ってくる財源の内、人件費や扶助費公債費など経常的に経費としてどれだけ使われたかを示す比率。通常75%程度に収まるのが望ましく、80%を超えると弾力性を失いつつあると言えます。

基金残高内訳（令和3年度末現在）

(単位：千円)

会計名	主な基金名	令和3年度末残高	令和2年度末残高	増減額
一般会計	財政調整基金	5,492,658	5,246,373	246,285
	減債基金	1,106,820	763,048	343,772
	公共施設等整備基金	2,064,426	1,587,743	476,683
	地域振興基金	967,934	961,488	6,446
	ふるさと創生基金	359,789	360,759	▲ 970
	地域福祉基金	559,528	557,139	2,389
	振興基金	1,232,486	1,359,012	▲ 126,526
	森林整備担い手対策基金	267,386	267,927	▲ 541
	山村地域振興基金	56,933	75,306	▲ 18,373
	ふるさと・まごころ基金	436,753	346,156	90,597
	森林環境譲与税基金	24,569	16,718	7,851
	その他基金5件	94,531	126,064	▲ 31,533
特別会計	自動車学校財政調整基金	313,704	292,388	21,316
	国民健康保険財政調整基金	270,410	220,410	50,000
土地開基金（現金等）		376,879	373,441	3,438
国民健康保険高額療養貸付基金		7,000	7,000	0
出資金等		255,494	125,494	130,000
合計		13,887,300	12,686,466	1,200,834

市債残高（令和3年度末現在）

(単位：千円)

会計名		令和3年度末残高	令和2年度末残高	増減額
一般会計		12,206,481	12,500,972	▲ 294,491
公営企業会計	簡易水道事業	1,259,683	1,139,688	119,995
	下水道事業	8,811,097	9,335,761	▲ 524,664
合計		22,277,261	22,976,421	▲ 699,160

令和3年度はこげなこつに使ったとばい

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金

総額 4億8,504万円

臨時経済対策商品券発行事業

うきは市買物券紙 2,240万円
うきは市スマホ買物券 2,999万円

新型コロナ感染対策事業

市内中小・小規模681事業者へ5万円の給付・支援強化に4,936万円

衛生環境整備として、トイレ床乾式化・洋式化の改修を山春・大石・御幸・江南各コミュニティセンター、浮羽保育所、白壁ホール、自動車学校等で実施（8,072万円）

小中学校の教室換気目的に、小学校476か所、中学校144か所に網戸設置（1,094万円）
手洗い場感染防止目的に、小学校1,020か所、中学校292か所をレバー式に交換（144万円）

放課後児童対策事業



令和2年度の繰越を含め、御幸学童保育所移転及び吉井学童保育所新築・江南学童保育所新築等（9,674万円）

新型コロナワクチン接種事業



集団接種1～3回目及び小児接種を含め、延べ59,109人の接種を実施（1億826万円）

公営住宅建設事業



建設から約50年経過し老朽化が著しい高見団地と兎渡島団地を解体し、高見団地として建て替えを実施（3億9,679万円）

簡易水道会計事業



小石原川ダム建設負担金（1億2,510万円）

Q 林業の担い手を増やしていく施策について、個人への支援が無いが、自伐事業者の要望を聞く場を設けてほしい。

A 地域施策の取組みとして、山村振興を図り、小さな林業を活かしていく。関係人口を活用するため、受け入れ体制の整備支援をしっかりと踏まえていく。

Q 旧東高跡地やかわせみホールは手つかずのまま放置されている。いつまでこの状態を続けるのか、市長任期の中でどうしていくのか伺う。

A 旧東高跡地は、放置しているのではなく、売却に向け取り組みを行ってきたが、成約に至らなかった。
かわせみホールは相反する意見もあることから、当面は現状維持で活用しながら協議していく。

総括質疑

Q 自主財源よりも依存財源が大きなウエイトを占めている。

次年度以降への事業経過・検証が十分にされていない懸念をもった。

「有るから続ける」から「必要だから続ける」へ検証し、絞り込む必要があるのではないか。

A 財政力指数と経常収支比率とを注視しながら分析している。

令和3年度は基準財政需要額が増大したことから健全化が進んだ。

メリハリの効いた対応をすべきとご指摘はしっかりと受け止める。

Q 保育所運営については、民間保育所が増えている。しかし、運営の基準やガイドラインなどの指導概要が見えないので、改善を求める。

A うきは市も公立保育所を運営しているが、長い目で見れば民間保育所に持っていくかと思っている。

ガイドライン等については、その現状を把握していないので所管と確認していく。

監査委員の意見

財源確保と各事業の検証や見直しを図り、効率的な歳出の執行を

監査委員 石井 好貴
組坂 公明

決算における本市の財政状況は、数値や指標から判断するに、概ね健全と考えられる。

現在、社会保障関係対策費の増加、公共施設やインフラの老朽化問題、防災・減災、医療費の増大に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による地域経済の伸び悩みなど様々な課題が山積しており、引き続き各種施策を着実に推進していくために、これからも堅実な財政基盤の構築が求められる。

財政状況の厳しい中、住民の要望や喫緊の政策課題に対応するための財源の確保に努めるとともに、各事務事業の検証や見直しを図るなど徹底した行財政改革を行い、効率的な歳出の執行を行うため、一層の経費削減に取り組むよう望むものである。

今、やらなければならないのは、人口問題ではないか



なかの よしのぶ
中野 義信 議員

人口減少、少子化対策の支援策は

庁内で議論しながら考えたい(市長)

中野 市長は、上水道の基本計画を令和7年度に計画、県南広域水道企業団に10年度に加入、工事を11年度と言っているが、市民への理解と加入確認はどのようにするのか。市民アンケート調査が必要と思うがどうか。

市長 市民の皆様の理解と加入についての、確認やアンケート調査については今後、何らかの形で意識調査を行う必要があると認識している。

中野 姫治地区は、上水道事業には当初から入っていないが、一般会計からの繰入れについては、賛成できない面があると思うがどう考えるのか。

市長 姫治地区は、市に

よる簡易給水施設の整備や給水組合への補助事業により財政支援を行ってきた経緯もあることから、理解いただけるよう十分説明していく。

中野 人口減少の中で今後の上水道事業の運営は危惧される。うきは市の水はおいしいと評判である。これを生かす方法を考えたかどうか。

市長 大幅な人口減少が避けられない中、独立採算を目指すべき水道事業にとって大きなリスクとなるので、安定経営を目指す事業計画の構築に取り組むことが重要であると考えている。

総人口や年代別人口についての今後の見通し

区分	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)	2045 (R27)
年少人口 (0~14歳)	3,475	3,085	2,686	2,327	2,041	1,798
生産人口 (15~64歳)	14,435	12,662	11,422	10,230	8,838	7,579
老年人口 (65歳以上)	10,071	9,533	9,051	8,493	8,100	7,626
合計	27,981	25,280	23,159	21,050	18,979	17,003

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、「国勢調査」

医療的ケア児・障がい児の支援について



たかき あきこ
高木 亜希子 議員

関係機関と連携し対象者を把握。

障害者福祉サービスの中で総合的検討を(市長)

高木 日常生活・社会生活へのサポートは具体的にどのようなものがあるのか。

市長 障害福祉サービスとして居宅介護・放課後等デイサービス・児童発達支援等がある。手帳未取得の場合でも医師の診断によって利用できる場合もある。また、医療的ケア児については医療保険制度の中の訪問介護・訪問看護・訪問診療を利用出来る。医療的ケア児在宅レスパイト事業も始まっている。

高木 他自治体では、医療的ケア児の市外施設への通所に交通費助成が始まっている。子どもたちの成長を考え、これらも

視野に入れて欲しいがどうか。

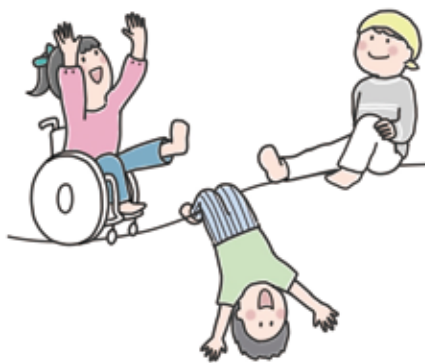
福祉事務所長 障害福祉サービスの移動支援を医療的ケア児に適用できるか確認する。

市長 総合的に検討をしたい。

その他の質問

・学童やサードプレイスなど「子どもたちの居場所作り」について

・市民サービスのデジタル化、窓口のタブレット導入について



全ての子どもたちが共に暮らし、自分のペースで成長できるまちに

大雨時、浸水する地域への対策は



くみさか きみあき
組坂 公明 議員

水路堰の倒伏、ため池放流等を講じながら、被害軽減に努めている(市長)

- 安全・安心なまちづくりについて

組坂 浸水する地域への具体的な浸水対策は。

市長 川前・福益地区は巨瀬川浚渫工事を実施している。旧東高校一帯は、山曾谷川の河川改修事業化に向け、事前調査を進めている。安免川は令和5年度に工事着手を進めている。浮羽真真館高校東側一帯は、一の瀬中ため池改修・水路新設整備事業計画を進めている。

- 小学校の熱中症対策について

組坂 小学校に冷水器の設置はできないか。

教育長 児童の水分補給は重要な課題であり、冷水器設置については、今



大雨のたびにくり返す浸水

後検討課題とする。

- 消防団について

組坂 消防団の人員確保における現状と課題は。

市長 定員数を31名割り込んでおり、勧誘や協力依頼、広報による募集活動、報酬や団活動の見直し等により人員確保の取

組を進めているが厳しい状況であり、消防団と協議しながら進めていく。

その他の質問

- ・消防団員アンケート調査の実施について要望
- ・消防団の協力金について

急速な感染拡大の所感を



いわぶち かずあき
岩淵 和明 議員

県と連携し難局を乗り切る(市長)

岩淵 学校現場の現況は。

教育長 学びの保障の観点から臨時休業・学級閉鎖等時は、小学校・中学校以上でオンライン授業を実施、低学年も準備して

おり、濃厚接触者や健康に不安を抱える児童生徒にもオンライン授業で対応しようとしている。

岩淵 市長メッセージの達成度合いは。

市長 達成度を数値で示せないが一人一人に願わしい主体的に感染予防行動をすることが重要と呼びかけてきた。

岩淵 感染拡大は自己責任だとお考えか。

市長 行動制限が無い中で一人一人主体的な感染予防行動、注意深い行動

が一番重要と考える。

岩淵 出口が見えない中政治の立場から問題を解決し公衆衛生上の対処が必要と思うが。

市長 死亡される方が多い、ワクチン接種率は回毎に低くなる、感染しても仕方ないと言

う受け止めがある中、新型コロナウイルスを通常医療に扱う提言等があり、大きな分岐点と思う。

岩淵 学校・保育所・公共施設等で二酸化炭素濃度測定を行い、換気環境割合の

可視化検査を求める。

市長 保育所・学童保育所は定期検査の義務が無い。

教育長 学校は測定器を増設し常時測定している。



情報の積極的な公開を 協働のまちづくり基本条例の活用



たかまつ ゆきしげ
高松 幸茂 議員

情報によつては、公表時期を慎重に判断（市長）

●● 協働のまちづくり

高松 個人情報保護条例は県内で上位評価。反面で、情報公開はまだ十分。

市長 「積極的な情報公開」の意味はまちづくり基本条例と情報公開条例では異なるが、非公開を認められていても、可能なら時機を見て公表。
高松 集落支援員を、地域の必要に応じて活用するように改善しては。

市民協働推進課長

果たすべき役割や業務内容を明確化し、自治協議会と協議を検討していきたい。



移住定住希望者のための
お試しハウス「うきは百年邸」

●● UJリーターン促進

高松 ふるさと納税を活用して、奨学金の返済支援事業を作つては。

市長 現在の若者の移住定住策を検証し、国の奨学金給付要件の緩和検討も踏まえ、返済支援制度も検討したい。
高松 自然とIT環境の

良い山間部にIT技術者を呼び込み、地域活性化につなげる考えは。

市長 うきはの知名度を上げないと、IT企業の誘致が進まない。
高松 補修が必要でも空き家バンク的な移住者受け入れ制度の検討を。うきはブランド推進課長 吟味して考えたい。

オーガニックビレッジ構想とは



たけなが しげみ
竹永 茂美 議員

みどりの食料システム戦略で 有機栽培等を支援するもの（市長）

有機栽培等を支援するもの（市長）

●● 竹永 学校給食へオーガニック食材の無償提供は。

市長 量の確保や質の基準もあるが、有機農業者の育成を推進しながら学校給食提供を検討する。

●● 保護者負担軽減は

竹永 PTAが負担している図書費や文化祭、体育祭、保健室薬品代は本来市負担ではないのか。
市長 従前から負担いただいている。行政負担が法的に必須とは承知していない。

●● 竹永 学校に寄付された図書などは寄付台帳で適切管理されているのか。

学校教育課長 備品台帳に記載していると思うので確認する。

●● 通学路の安全安心は

竹永 子どもの安全確保のため、交通指導員の指導場所や実績は把握しているのか。

市長 登校時間帯に近くに立たれている。各指導員からの活動実績までは求めている。
竹永 活動報告を求めなくて支払うのは交付金要綱に違反しないのか。

●● 市民協働推進課長 各指導員から報告は受けていないが、各分会長から報告を受けている。

市長 ほとんど取れていない先生たちの厚みと持ち帰りの業務の実態把握をしない原因は。

●● 超過勤務の実態把握は

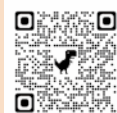
竹永 ほとんどもと取れていない先生たちの厚みと持ち帰りの業務の実態把握をしない原因は。
教育長 客観的な把握が困難なため行っていない。

オーガニックビレッジ



農林水産省
ホームページより抜粋

農業の肥料価格高騰にさらなる支援を



ごんどう ひでき 権藤 英樹 議員

市の独自支援として、国・県の支援に

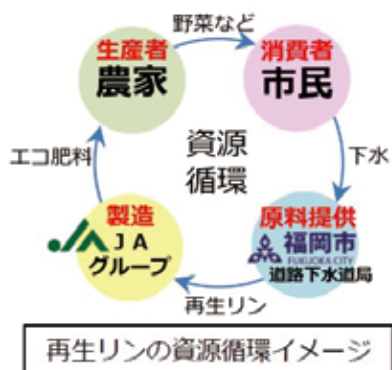
上乗せ補助を行う(市長)

権藤 深刻化する国際情勢により肥料の価格が高騰し、本市の基幹産業である農業の経営を圧迫している。本市の独自支援策も含めた農業者の負担軽減や営農継続支援が必要ではないか。

市長 肥料高騰対策支援については、国・県が価格上昇分の一部を補填する制度を打ち出しており、市も独自支援として国・県の補助に上乗せ補助を行う。

権藤 福岡市とJA全農ふくれんが下水処理の汚泥からリンを取り出し、化学肥料に再生している。本市も下水の汚泥を肥料等に活用できないか。

市長 全く同じというこ



再生リンの資源循環イメージ
再生リンの肥料は従来品より2割ほど安価で供給
資料:JA全農ふくれんHPより

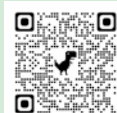
とは難しいが、今後カーボンニュートラルも含めてしっかりと見据えて考えなければならぬテーマであると認識している。

権藤 有機農家や半農半X実践者を本市の中山間地域の耕作放棄地の担い手として支援する独自の取り組みはできないか。

市長 うきは市農業振興対策事業などを活用した支援を継続するとともに、有機農家や半農半X実践者への支援について引き続き調査研究を進めていきたい。

その他の質問
・新たな産業の誘致と遊休地の活用について

命と暮らしを守る災害対策 マイ・タイムラインの作成を



ひくち りゅうぞう 樋口 隆三 議員

マイ・タイムラインの利用を促す(市長)

樋口 マイ・タイムライン(防災行動計画)とは、いわゆる台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に自身自身が取る標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え、命を守る避難行動のための一助として作成するもの。市として導入が可能か市長の見解は。

市長 マイ・タイムラインは、各個人が自らの命を守るための取組みとして有効な手段の1つと考えている。市のホームページでも紹介している。今後、自主防災組織の取組みや「災害は歴史に学び、逃げ遅れゼロ」の取組みなどと併せて市民への防災意識の向上、啓発

活動の中でマイ・タイムラインの利用を促していく。

樋口 事前の準備、対策をしつかり講じていくことが自然災害から身を守ることに直結することを自覚し、マイ・タイムラインを各家庭で作成することを提案したい。

市民協働推進課長 自らの命は自ら守る、家族の命も自ら守る、とマイ・タイムラインは大変有効な手段だと考えている。今後、広報誌、ホームページ等でもっと分かりやすく促していきたい。

その他の質問
・うきはバス路線の追加
・男性トイレにもサニタリーボックスの配備を
・出生時育児休業の取得



災害危険箇所に関する調査

調査期日 令和4年7月6日（水）
調査場所 1、妹川 葛籠ヶ迫地区、市道 元有・上梅力二線（令和3年8月地滑り）
 2、吉井19区 安免川（河川 越水による浸水）
調査の趣旨 毎年繰り返し起こる豪雨災害への対応状況について、市内の3か所の改修工事の状況について確認を行い、議会として今後の審議の参考にすることを目的で視察調査を行いました。

主な内容

妹川葛籠ヶ迫地区市道は、令和3年8月11日～17日の豪雨の際に市道路の路面（谷側）が崩落し、路面の復旧工事は終了してはいますが、路面下の樹林帯が地滑りの兆候が見受けられ一部50センチほどの段差ズレが見られました。

質疑応答

Q 地滑りの原因を確認して「山腹工」の工法を決めるとしているがどのような工事を行うのか。

A 五本のひずみ調査の中で、継続的に地滑りが起きているのか、地下水の流れがあるのかを調査し、水抜き用のパイプを打ち込むか、斜面にコンクリート

主な内容

19区安免川の越水は、豪雨の際、2つの水路が直角に合流する地点の下流部分の河道が狭窄部となっているため、下流域にスムーズに流れず「氾濫」を頻繁に起こしており現地視察を行いました。

を打ち込むか等検討する。

質疑応答

Q 合流地点に住む方々からは、「毎年大雨が降ると浸水する。」という苦情がある。そのため、下流域にまつすぐに流れるような改修設計をまず考えて欲しい。

A 現在のL字型に誘導する流れを、拡幅するよう想定しているが、堰を作るので更に検討する。



公共施設等総合管理計画に関する調査

調査期日 令和4年8月3日（水）
調査場所 うきは市役所第1委員会室
調査の趣旨 今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことが求められています。公共施設の管理計画を実行するには、市民の暮らしや地域のあり方に直結した問題であるとの認識に立ち調査を行いました。

主な内容

令和2年度に策定した個別施設計画では建物台帳に登載された行政財産のうち、整理要件に該当する施設を対象とし、計画が策定されています。

質疑応答

Q 合併によるスケールメリットを生かすためにも、同種同類の施設は解消すべきと思うが、そのことについて各所管は統一した見解を持っているのか。

A 同種同類施設について解消すべきと認識を持っている。

子ども子育て世帯への支援策に関する調査

調査期日 令和4年7月22日（金）
調査場所 うきは市役所第2委員会室
調査の趣旨 人口減少が加速する中、対策としての最重要課題は「子育て世代の流出防止」であり、まず現状を把握することが肝要と考えました。そこでうきは市立小中学校の入学時にかかる費用、保育所・学童保育所の利用者負担額、そして子ども医療費等に関する費用について調査を行いました。



質疑応答

Q 市内中学校2校の制服の見直しはどのようになっているか。

A 検討委員会で2年間検討し、令和6年度からスタートする。

Q 給食費を市の負担とすることを検討したことがあるか。

A 小中学校の給食費を合算すると1億円以上かかり、現状うきは市では困難である。

その他にも様々な質疑応答がありました。

所見

「安心して子どもを産み、イキイキと育てることのできる環境づくり」に努め、子育て世代が「うきは市は子育てに優しいまちだ」と実感することが、市への移住・定住促進へつながると考えます。市の財政力の課題もあることは承知してはいますが、引き続き「安心して子育てできる環境、条件整備」へ向けて政策提言を行ってまいります。



地域福祉政策に関する調査およびヒアリング

調査期日 令和4年8月17日（水）
調査場所 福富コミュニティセンター
調査の趣旨 可能な限り住み慣れたところで自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、「地域包括ケアシステム」構築に向け各自治協議会が様々な取組みを行っています。

今回は、現在「通所型サービスB」を地域住民の皆さんへ提供する「福富ほっこり」で現地調査を行いました。

また、「買い物支援」のニーズが今後更に増えるとの予想を踏まえ、「移動販売車」の普及・拡大へ向け課題を把握するため、実施事業者（サンピットバリューうきは店、セブンイレブンうきはバイパス店）から取組みについてヒアリングを行いました。



所見

現在、市内で3つの自治協議会が「通所型サービスB」に取り組んでいます。まず、いかにこれを市内全域で実施していくかが課題だと認識しました。また、「買い物難民」と言われる方々の増加が予想される中、今後の「買い物支援」の環境で「移動販売事業」の果たす役割は大きく、市として必要な支援を行っていくべきだと考えます。



市民生活基盤対策特別委員会

上水道整備事業のあり方を考える

2回の視察を実施



1 小石原川ダムならびに福岡県南広域水道企業 団視察

日 時 令和4年7月27日（水）
視察箇所 寺内ダム、江川ダム、小石原川ダム（朝倉市・東峰村）
福岡県南広域水道企業団荒木浄水場（久留米市）

本市が利水参画権を持つ小石原川ダムや近隣の寺内ダム、江川ダムの施設概要や機能について説明を受けました。

福岡県南広域水道企業団では、荒木浄水場の施設を視察の後、企業団の事業内容や上水道事業の運営等について説明を受けました。

説明後の質疑では、推計される事業費の総計についてや、うきは市までの管路整備の費用負担について、本市で独自整備が必要となる施設整備についてなど、活発な質疑応答が交わされました。

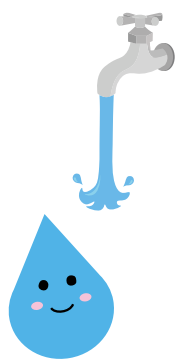


2 近隣自治体の上水道事業視察

日 時 令和4年8月10日（水）
視察箇所 筑前町役場、四三嶋受水場（朝倉郡筑前町）

福岡県南広域水道企業団から受水し、本市と人口規模も近い朝倉郡筑前町の上水道事業を視察し、意見交換を行いました。

説明後の質疑では、住民意識調査や住民説明会の方法や回数について、山間地域への配水状況や未接続世帯への対応について、上水道接続率向上の取組みについて、整備費用の償還や事業の採算性についてなど、より現実的で、今後本市でも懸念される具体的な課題について掘り下げた質問が多く出されました。



今後は、半数の議員で構成するワーキンググループにおいて、これまでの視察で得た情報等を整理・分析するとともに、本市における上水道整備事業の是非やあり方について議論を進めていきます。



議会改革特別委員会

令和4年6月議会定例会で設置された「議会改革特別委員会」が、7月1日の全員協議会後に本格的に始動を始めました。

「議会改革特別委員会」は14名の議員全員で構成されますが、具体的な改革の調査・検討を進めるために、7名によるワーキンググループを結成し、その中で改革の素案

協議する主な内容

議会改革特別委員会の中で、見直し検討を行う内容の確認を行いました。その結果、次の内容を今後調査・検討していくことにしました。

①つきは市議会基本条例の検証（条例にある議員定数と議員報酬については別途個別に検討）

うきは市議会基本条例は、議員自らが作成、議決した条例であり、議会の運営や議員活動のあり方について定めた条例であります。まずは条文や内容を検証し、現状の議会運営等を見直します。

②議会報告会や意見交換会等のあり方

議会基本条例で定められていますが、コロナ禍において現状実施できていません。今後の報告会や意見交換会等のあり方について検討します。

③「議会運営に関する申し合わせ事項」の見直し

議会を運営する中で、条例や規則以外にも、議員同士において一定のルールを定めています。その内容について、現状に見合う内容であるか検討します。

④常任委員会の活動・運営の充実について

うきは市議会には「総務産業常任委員会」と「厚生文教常任委員会」と現在2つの委員会があります。その委員会の活動について、今以上に委員会としての活動が充実できるように検討します。

⑤議会施設や環境の整備

議会の施設等の中で、議員図書室の整備や、女性議員のための施設整備等について検討します。

⑥政務活動費について

政務活動費について、その活動費の活動内容や

金額等について、見直しをします。

⑦議会におけるデジタル化の推進（議員活動へのタブレット端末導入など）

議会においてもデジタル化を図る必要があるとして、タブレット端末の導入やペーパーレス化等について検討します。



議員のタブレット端末研修

⑧市議会ホームページの見直し

うきは市議会のホームページは更新されています。そこで今回ホームページに記載する内容や検索方法など、更新すべき内容について検討していきます。

⑨議員定数と議員報酬の調査・研究

うきは市議会の今後の議員定数と、議員の報酬について、調査・検討します。

中でも、議員の定数については、市民の意見を十分に聞くことが重要であることから、時間をかけて調査・検討を重ね、次回の改選前になる令和7年9月議会までに結論を出していきます。

以上大きく9項目について、調査・検討を行うことにしました。

7名のワーキンググループメンバーです



〈後列左から〉高木亜希子委員、高松幸茂委員、佐藤裕宣委員、伊藤善康委員、組坂公明委員
〈前列左から〉野鶴修委員長、竹永茂美副委員長



ワーキンググループ会議

市民の声

地域で 困っている人

◆街灯が少なく点灯していても薄暗いので、子ども達の部活動の帰りや習い事の帰りなど特に冬は真っ暗で怖いです。
全体的に街灯の増設を希望します。
◆千年校区は水路が多いため、子どもやお年寄りが落ちたとよく耳にします。蓋や柵を設置

して欲しいです。

◆年に2回ある道路愛護は日曜日となっていていますが日曜日でも仕事があるため、平日にも設けられると助かります。
◆ゴミの野焼きについては「農業、林業、漁業を営むためにやむを得ないものとして廃棄物の焼却」が行われていますが、例外事項としても洗濯物を干している早い時間から焼くことは配慮に欠けている時があります。周知徹底をお願いします。

うきは市民で 良かったこと

◆五庄屋の歴史を学ぶ中で座学だけでなく川下りや田植え稲刈りなど、子ども達が実際に体験できることです。
◆お水がきれいで、水道代がかからないことです。
◆道で子ども達（小中高生）に会うと大きな声で元気にあいさつをしてくれるので、こちらも元気になるります。



山平紗矢香さんと3人のお子さん

彩葉さん（中1）、瑛太さん（小1）
夏輝さん（小4）、夫（健二さん）撮影
千年小学校 PTA 成人教育委員
吉井町千年
大分市出身、結婚を機にうきは市へ

表紙紹介



浮羽体育センターで毎週水曜日と金曜日に練習をしています。まだ保育所に通っている子もいます！サッカーの練習はもちろんですが、それを通じて異年齢の子ども同士

の接し方や、指導・応援してくれる方への感謝の心やマナー、そして「自ら考え、動くこと」を自然と学んでいるようです。写真は、練習後にベンチ周辺を掃除する高学年の子どもたち。お兄さん・お姉さんたちの姿勢から、後に続く子どもたちが何かを感じてくれていたら素敵ですね。

編集後記

深刻な物価・エネルギー・原材料価格の高騰が続いています。
8月まで全国消費者物価指数が前年同月を12ヶ月連

続して上回っており、さらに原材料価格上昇だけでなく、円安によりその裾野は広がってきました。
9月議会では、うきは市が行う「物価高騰対策支援策」について、対象を広くすることへの意見が出される等、議案質疑が活発に行われました。
一方で、国による公的年金の引き下げ、10月からは75歳以上の医療費窓口2割負担（所得単身200万円・夫婦世帯320万円）が実施されました。
市民にとって暮らしやすいまちづくりのために、14人の議員の力を合わせた議会作りが益々大切と強く思います。
（岩淵 和明）

議会を傍聴しませんか。

- ◆12月議会定例会は
12月2日（金）開催予定です。
- ◆一般質問は12月5日（月）
12月6日（火）の予定です。
- ◆インターネットの
ライブ配信と録画配信
もおこなっています。



発行責任者

議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 野鶴 修
副委員長 岩淵 和明
委員 樋口 隆三
高松 幸茂
高木 亜希子
権藤 英樹

議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342